

リリモテラス
整備事業

市民主体で運営案を 検討しています！

～リリモテラス運営協議会で活発に議論～



市では、リリモテラス公益施設(仮称)の建設にあたって、これまで、ながくて隣人まつりやヒアリングなどを通じて、市民のみなさんから設計案や管理運営などについてさまざまな意見を聴いてきました。一方、観光交流協会や国際交流協会などの関係団体は、自らリリモテラス運営協議会を結成して、“この施設で何をするのか”、“どんな管理運営をしたらよいのか”といったことなどを議論しています。

そこで、今回はリリモテラス運営協議会の活動を紹介します。

[HPを見る](#)

記事ID 12413

☎ たつせがある課 ☎ 56-0641

■ リリモテラス運営協議会とは？

平成28年度に策定された「リリモテラス公益施設(仮称)整備基本計画」に記載がある4つのテーマ「大学連携」、「観光交流」、「多文化共生」、「子育て支援」に関係する団体や文化の家、昨年度活動した100プロジェクトのメンバーなどで構成されます。

定期的に会議を開催して、公益施設の設計案や運営の検討をしたり、ながくて隣人まつりを主催したりしています。



■ 協議会が考える リリモテラス公益施設(仮称)の理念

現在、リリモテラス運営協議会では、リリモテラス公益施設(仮称)の管理・運営を自ら検討しており、まずは次のような共通理念を提案しています。

1 もりと共生する

見直される価値観「自然」と共生しながら生活の豊かさを取り戻す必要があるのでは？

2 問いかける、向き合う

人は言葉で伝えあう術をもつ。なかなかわかりあうことが難しい。だから問いかける。向き合う。つながりを取り戻す。

そしてこれからも様々な議論を通じ、具体的な活動に取り組もうとしています。リリモテラスに関する情報は、広報紙や市HPなどで随時お知らせします。



協議会でのプレゼン大会の様子



リリモテラス運営協議会が主催する
ながくて隣人まつりの様子